

令和2年度

一般会計決算に係る主要な施策の成果等報告書

西いぶり広域連合

## 1. 西いぶり広域連合一般会計予算の執行と成果の概要

(1) 一般会計補正予算の状況 ( ) は、当初予算額及び補正後予算額を示す。

(単位 千円)

区 分	補 正 額	補 正 の 主 な 内 容
当 初 予 算 R2. 2. 20 議決	(2, 229, 381)	
補正予算第1号 R2. 4. 28 専決 (R2. 9. 2 承認)	7, 913 (2, 237, 294)	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策対応経費
補正予算第2号 R2. 9. 2 議決	64, 576 (2, 301, 870)	福祉システム改修、介護保険システム改修、戸籍附票管理システム及び住民基本台帳システム改修、危険ごみ処理装置設置工事費、危険ごみ保管容器購入費、新中間処理施設設計・建設技術支援業務委託債務負担行為設定(危険ごみ処理装置賃借料、新中間処理施設設計・建設モニタリング業務委託、新中間処理施設設計・建設技術支援業務委託)
補正予算第3号 R2. 11. 24 議決	21, 788 (2, 323, 658)	電子決裁システム導入経費、送電線増強工事費負担金 債務負担行為設定(西胆振地域廃棄物広域処理施設老朽化対策業務委託)
補正予算第4号 R3. 2. 19 議決	8, 208 (2, 331, 866)	健康管理システム改修 債務負担行為設定(共同電算用システム等保守業務委託、住民記録システム改修業務委託、洞爺湖町システム導入、西いぶり行政サービス基盤機器更新、送電線増強工事費負担金)
補正額合計	102, 485	

### (2) 歳入歳出予算の執行結果

予算現額との比較で、歳入では、75,627千円の減収となりました。これは、日本容器包装リサイクル協会からの拠出金収入等があったものの、歳出で不用額が生じたことにより関係市町負担金が減少したことなどによるものです。

歳出では、77,240千円の不用額が生じました。この主な要因は、予算額に比べ、西胆振地域廃棄物広域処理施設の運転保守管理受託会社への施設運転保守管理業務委託費(補填措置分)や老朽化対策経費が減少したことなどによる中間処理施設運営費の減などによるものです。この結果、実質収支額(決算剰余金)は、1,613千円となりました。

### (3) 債務負担行為

令和2年度に債務負担行為を設定した事項について、契約締結等による令和3年度以降の支出額は次のとおりです。

(単位 千円)

事 項	限度額	令和3年度以降 支出額	支出期間	備 考
情報セキュリティ対策用機器更新	89, 800	87, 377	令和3年度から 4年度以内	
中間処理施設整備・運営事業	33, 091, 000 千円にごみ 量やごみ質	33, 090, 000 千円にごみ 量やごみ質	令和3年度から 24年度以内	

	の変動、金利 変動、物価変 動及び税制 度の変更に よる増減額 並びに消費 税額及び地 方消費税額 を加算した 額	の変動、金利 変動、物価変 動及び税制 度の変更に よる増減額 並びに消費 税額及び地 方消費税額 を加算した 額		
危険ごみ処理装置賃貸借	16,700	15,510	令和3年度から 5年度以内	
新中間処理施設設計・建設モニ タリング業務委託	246,400	224,400	令和3年度から 4年度以内	
新中間処理施設設計・建設技術 支援業務委託	26,600	25,245	令和3年度から 4年度以内	
西胆振地域廃棄物広域処理施設 老朽化対策業務委託	100,000	99,940	令和3年度	
共同電算用システム等保守業務 委託	216,100	216,076	令和3年度	
住民記録システム改修業務委託	3,000	2,886	令和3年度	
洞爺湖町システム導入	153,000	152,759	令和3年度	
西いぶり行政サービス基盤機器 更新	1,198,000	1,197,491	令和3年度から 6年度以内	
送電線増強工事費負担金	169,900	169,900	令和3年度から 4年度以内	

#### (4) 主要施策の成果概要

##### ① 西胆振地域廃棄物広域処理事業

ごみ処理施設の令和2年度のごみ搬入量は、前年度の可燃ごみ40,042.94トン、不燃・粗大ごみ9,348.38トン、合計49,391.32トンから、可燃ごみ38,943.55トン、不燃・粗大ごみ7,910.10トン、合計46,853.65トンとなり、約2,500トン、5.1%の減量となりました。これは、主として新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業系廃棄物の減少などによるものと考えられます。

令和2年度も、西胆振地域廃棄物広域処理施設の運転保守管理受託会社である西胆振環境(株)に対し、広域処理施設の安定的な運営の継続を目的として、268,125千円の施設運転保守管理業務委託費(補填措置分)の支出により経営支援を行いました。

##### ② 最終処分場運営事業

最終処分場の令和2年度のごみ埋立量は脱塩残渣1,477.07トン、処理不適物等1,820.14トンの合計3,297.21トン、覆土は364トンでした。

##### ③ リサイクルプラザ運営事業

令和2年度の資源ごみ処理量は、缶類373.70トン、びん類777.22トン、ペットボト

ル 409.11 トン、合計 1,560.03 トンで、アルミ缶、スチール缶、ペットボトルの売払で 34,789 千円、また日本容器包装リサイクル協会からの有償入札拠出金及び再商品化合理化拠出金で 6,528 千円の収入がありました。ペットボトルの処理では、日本容器包装リサイクル協会への引き渡し（指定法人ルート）が 289.87 t、民間事業者への売却（独自ルート）が 119.24 t で、独自ルートでは 3 カ月ごとの入札により事業者を決定しました。

また、令和 3 年度開始の危険ごみ処理に備えて、危険ごみ処理装置を設置しました。

環境学習施設では、和こものつくりなど各種体験学習講座を行い、施設見学と合わせて 1,890 人の利用がありました。

再生家具の展示・販売を 9 月、1 月の 2 回行い、13 件で 25 千円の売払収入がありました。

#### ④ 新中間処理施設整備事業

新中間処理施設の整備・運営事業者の選定を行い、契約を締結しました。令和 6 年 10 月の供用開始に向けて、施設の設計を行った後に工事を進めます。

また、新中間処理施設では、現在の中間処理施設よりも発電量が増加する見込みであり、売電量も増加することから、供用開始までに送電線の増強工事を実施する予定です。

#### ⑤ 余熱利用施設等運営事業

げんき館ペトトルにおいては、午後 1 時から 8 時までの一般利用のほかに、午前中の専用利用では、指定管理者による健康増進・ダイエットを目的としたアクアエクササイズ教室や水泳教室の開催など利用拡大に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和 2 年 4 月・5 月末に臨時休業があったことから、利用者数は、温水プール 11,026 人、体育館 8,130 人、多目的室 13 人の合計 19,169 人となり、3,741 千円の利用料金収入がありました。

#### ⑥ 共同電算システム運用事業

共同電算システムの運用では、新型コロナウイルス感染症対策に関連し、ワクチン接種事業に対応するため健康管理システムの改修や緊急経済対策に伴う、ひとり親世帯臨時特別給付金、子育て世帯への臨時特別給付金及び特別定額給付金に対応するため各種システムの構築及び改修のほか、介護報酬改定等に伴う介護保険システムの改修など各種制度改正等へ対応しました。

また、インターネットからの不正メール（不正ファイルの添付や不正サイト URL）の侵入および、外部に対する不正通信（C&C サーバへの Callback）などを防ぐための情報セキュリティ対策機器の更新を行いました。



## 2 主要な施策の成果

### (1) 一般会計

款	目	事業名	決算額	財源			
				特定	地方債		
			国道支出金	地方債			
情報処理費	情報処理費	西いぶりデータセンター運営管理経費	16,155				
		共同電算システム運用経費	455,602				
		西いぶりデータセンター整備事業費	53,338				
ごみ処理費	中間処理施設運営費	中間処理施設管理運営経費	1,382,815				
		最終処分場管理運営費	45,712				
		リサイクルプラザ運営費	64,201				
		中間処理施設建設費	中間処理施設整備事業者選定支援業務委託	23,804	7,777		
			中間処理施設整備技術支援業務委託	924			
			新中間処理施設設計・建設技術支援業務委託	2,178			
			送電線増強工事費負担金	8,515			
		土木費	余熱利用施設等運営費	余熱利用施設等管理運営経費	46,569		

内 訳		事業等実施の成果概要	
源	一般財源		
その他			
	16,155	データセンターの維持管理	
	455,602	システム保守業務委託	9件
		機器保守業務委託	5件
		制度改正等対応業務委託	33件
	53,338	帳票処理機器等更新 外	
154,825	1,227,990	ごみ搬入量	46,853.65t
		可燃ごみ	38,943.55t
		不燃・粗大ごみ	7,910.10t
		周辺環境モニタリング（大気環境）	
		使用済み乾電池処理量	33,770kg
		施設運転保守管理業務委託費（補填措置分）	
		老朽化対策業務委託	
17,725	27,987	ごみ埋立量	3,297.21t
		脱塩残渣	1,477.07t
		処理不適物等	1,820.14t
		覆土量	364t
		残余容量	964.803m <sup>3</sup>
41,424	22,777	資源ごみ処理量	1,560.03t
		缶類	373.70t
		びん類	777.22t
		ペットボトル	409.11t
		（ペットボトル処理の内訳）	
		指定法人ルート	289.87 t
		独自ルート	119.24 t
		環境学習施設利用者数	1,890人
		和こものつくり等	1,090人
		施設見学	800人
		再生家具の展示・販売（年2回）	13件
	16,027		
	924		
	2,178		
	8,515		
237	46,332	げんき館ペトトル利用者	19,169人
		温水プール（自主事業受講者含む）	11,026人
		体育館（自主事業受講者含む）	8,130人
		多目的室・研修室・健康情報室	13人